



今しかできないことを今のうちに

一年間のまとめの季節。教室をのぞいていると、子どもたちの成長にハッとさせられることが多いです。ひらがなを数文字書くのにたくさんの時間を費やしていた子たちが、ノートやプリントに自分の気持ちや考えをたくさん書いていたり、インタビューして聴きとった話を立ったままメモにとったりしています。プリントとにらめっこしながら発表していた子たちがしっかりと聴いている人たちに視線を向けて発表しています。勉強の場面だけではありません。休み時間にみんなをまとめ、しきって来ていたり、困っている低学年の子がいたらサッと膝を落として面倒を見てくれたりしています。この時期はいろんな場面でたくさんの成長の足跡を見せてもらえます。

もちろん好ましい場面ばかりではありません。ちょっとしたきっかけでむきになって言い争いになったりします。腹も立てます。ケンカもします。そんな子どもたちの心の揺れも、成長していくうえで欠かすことのできない必要な心の動きです。相手のことを考えられるようになるのと同時に、他の誰かとは違う一人の存在を確立していくのも、今、大事なことからです。

今を大切にするといえば、今月の中旬あたりからいろんなところで6年生を送る会に向けての準備をしている場面を見かけます。委員会活動での廊下装飾。それぞれの学級での取り組みでは6年生にインタビューしていたり、一緒に写真を撮っていたり、似顔絵を描いていた。どんな形の贈り物になるんだろうと想像しながら、活動の様子を観ていると楽しい気持ちになるのと同時に物寂しさも感じます。お別れの時がすぐそこまで近づいていることに気付かされるからだと思います。

話はそれですが、年度末を間近に控え職員もまとめの研修を行っています。1年間を通し、子どもたちについて、今後一層伸ばしていきたい力について話し合いをしました。協議されたことのひとつに「人に伝える力がついてきているので、今後は語彙力を増やしより表現力を高めることにつなげていきたい」との話がありました。子どもたちの伝えたいという気持ちを育み、伝える内容の奥行きを広げられるよう豊かな言葉を持たせてあげるとともに、伝え合うことが自然に感じられる雰囲気づくりに努め、人と人とのつながりを楽しめる心持ちの涵養を目指して参りたいと存じます。

まとめの3学期。ほんとうに大まとめをする季節を迎え、子どもたちの成長をたくさん見ることが出来ます。挑戦するときの真剣な表情、やり遂げたときの笑顔はとっても輝いていて、そばにいただけでたっぷり元気がもらえます。そんな表情や笑顔を一つ残らず見落とさないでいられたらいいなと思っています。年度の暦も明日からは最後の一葉。職員も子どもたちと一緒に“今”を大切にしながら、次のステージへの準備を進めて参りたいと存じます。

天気予報の日中の気温がプラスに転じ、凍っては融けてを繰り返しながら乾いてゆく駐車場の氷の層。前庭のブランコ周りの黄の柵が陽射しを受けて光る様。そろそろ気の早い虫たちが活動を始めているかも知れません。三寒四温の季節です。どうぞお体にご留意いただければと存じます。

